

# 町ぐるみ「和木学園」報告書

## 明治150年記念講演会「史料で読み解く明治維新时期の和木地域」



### 1 和木学園の概要

町全体を学園と捉えて、その学園で行われる生涯学習を推進する取組である。新たな取組として、生涯学習を推進するイベントやニーズに応じた講座づくりを展開するとともに、これまで取り組んでいる活動も和木学園の取組として捉えることができる。

### 2 本講演会の開催趣旨

町民が和木町の歴史に興味を持ち、当時の出来事や文化を知ることにより、知識の向上、新たな発見の手がかりの手助けとなることを目的に2年に渡り、広報紙に4名の有識者が執筆する歴史のコラムをリレー方式で掲載しており、歴史のコラムの復習、コラムでは書ききれなかった詳細について講演を行う。

### 3 主催・後援

主催：和木町、和木町教育委員会

後援：岩国市教育委員会、大竹市教育委員会

### 4 日時・場所

日時：平成30年5月12日（土）13：30～16：00

場所：和木町総合コミュニティセンター

### 5 参加者

町内外より約80名

### 6 行程概要

開場 13：00

開演 13：30

第一部 13：35～14：35

第二部 14：50～16：00

主催者あいさつ（重岡良典教育長）

講演「明治維新时期の地域社会—史料で読み解く実像世界—」  
（講師和木町文化財保護審議会 正中克磨 会長）

トークセッション（正中会長及び岩国徴古館 松岡智訓 副館長）



### 7

#### 【第一部】講演会「明治維新时期の地域社会—史料で読み解く実像世界—」

和木町文化財保護審議会の正中克磨会長にご講演をいただき、江戸後期から明治初期頃までの岩国や和木地域の実態について、広報連載コラムの内容を中心に、詳しくご講演いただきました。

現在の和木地域がどのようにして形作られたのか、地域の庶民や武士の暮らしぶり、四境戦争時における庶民の協力・貢献、明治に入ってから大きな社会変化と地域の変容、近代行政の始まりなどについて、これまでの江戸～明治時代初期のイメージを大きく変えられるような大変興味深いお話を伺うことが出来ました。



## 【第二部】トークセッション

岩国徴古館の松岡智訓副館長をお迎えして、正中会長とお二人で、史料から読み解かれた様々なエピソードを交えながら、より掘り下げたお話をさせていただきました。

岩国徴古館に残されている史料には生々しい記述がされたものも多く、社会情勢・暮らしや天気、果ては当時流れていた噂話に至るまで、様々なものを詳しく知ることが出来るとのこと。



まだまだ内容の確認できていない多くの史料が眠っているとのことで、これまで知られていなかった新しい発見やがあるかもしれません。

### 参加者アンケート結果（任意、回答総数 37）

問1 この講演を聞いた感想を教えてください。

とても満足 15、満足 17、ふつう 3、あまり満足しない 0、不満 0、未記入 2

問2 今回の講演内容でよかったところ・改善すべきところを教えてください。（ほぼ原文のまま掲載）

#### 【良かったところ】

- ・面白かった
- ・当時の平民の姿（様子）など伺い知り得たこと
- ・和木地域の江戸～明治～明治維新を迎えた内容が良かった。
- ・岩国藩士の日記紹介がおもしろかった。
- ・地域のことがよくわかった
- ・初めて聞くことは新鮮味があった。
- ・地域に関することで興味深い。DVDの使用。対談形式。
- ・幕末の頃の和木地域の様子が少し理解でき、和木町の生い立ちに興味があった。
- ・大変お上手で流れがよくわかり、勉強になりました。よい話でした。今までの理解と違ったのがよかった。
- ・なかなか表に出てこなかった資料に関わる話は面白かった。
- ・和木町の一部ですが、歴史がわかって参考になった。
- ・トークショーが面白かった。（ご両人とも博学）。

母なる小瀬川も多大な恩恵とともに様々な歴史を含んでいることが面白いです。

- ・すぐくわかりやすい解説で、知らないこともたくさん聞けて、楽しく学ぶことができました。

古文書を読み解いていくと、史実以上に当時の様子、背景が知れることに、とても興味を持つことができました。

いつか古文書講座も参加してみたいと思います（特に日記）。

- ・たのしく分り良い講演でした。よく分ったと思います。
- ・維新前の庶民の状況がわかったこと。
- ・古きをたずねて新しきを知る。

- ・トークセッションなので講演で語られないことも引き出してくださって興味深かったです。
- ・トークセッション面白かった。
- ・トークセッションはとても面白かった。庶民の古文書から様々な情報がわかる面白さを感じた。
- ・子どもの頃親から聞いたことを思い出せてよかったと思いました。
- ・初めて和木の様子を概見できたこと。
- ・山口県東部に影響した人物、歴史がよく分った。トークセッションが生のものでよかった。  
四境戦争に庶民が参加した和木の人情。
- ・お二人のディスカッションは有意義でした。
- ・トークセッションは面白かった。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・幕末維新というと、どうしても山口毛利藩に脚光が当たり、実際の最前線でもあった和木・岩国のことはメジャーではない。先人の労苦など身近に感じられました。
- ・長州との戦い前の岩国藩士の日記が興味深かった。
- ・スクリーンで話を進めるのでとても良い。
- ・歴史の生々しい話が聞けて良かった。
- ・正中さん、松岡さんお二人のトーク、とてもよかったです。
- ・改めて和木町の歴史に興味を覚える。古文書は難解であるが、解説してもらってよく分る。

【改善すべきところ】

- ・今後、講演会の回数を増やせないか。
- ・小瀬川古地図などは印刷物で配布したほうが良い。
- ・トークセッションで話題とした事例の資料を配布、あらかじめできないか。
- ・時間がもう少しあればもっと詳しく聞けたように思う。
- ・ゆっくり話してほしい。一番聞きたい部分の時、早口なので高齢者には聞き取りにくい。
- ・数に制限が必要だろうが、質問コーナーがあっても。
- ・このまま続けてください。
- ・維新後、庶民の身分差はどうしてできたか。なぜ長州だけが戊辰の怨念につきまとわれるのか
- ・メモを取りたいので机があると嬉しいです。
- ・ちょっと内容が難しかった。噛み砕いて話をされるとよい。
- ・講演前のビデオに「長州征伐」と盛んに出ていたが、これは不可である。山口県人・和木町民として、誇りを持つべきである。(広島市から来られた方のご意見)
- ・動画ビデオのようなものがあればもっとわかりやすいと思った。
- ・和木を支配した藩士、出身者について知りたい。

※その他会場の音響（主にマイク）の不具合についてのご意見を複数いただいています。

問3 この講座をどうやって知りましたか（あてはまるものすべてに○）

広報わき 19、案内チラシ・ポスター 11、人づてに聞いた 7、その他 5、未記入 0

問4 今後も明治150年記念事業の講演会・シンポジウムなどに参加してみたいですか。

参加してみたい 22、都合が合えば参加してみたい 12、参加したくない 0、わからない 1、未記入 0